

# 2019年度 法人事業報告

社会福祉法人 露の会 法人本部

## 1. スタッフの支援レベル向上のための本部研修を実施。

- ①外部講師派遣として「チーム OJT」研修を行い 32 名参加し、チームとして OJT をすることの意味について理解を深めました。
- ②重大事故やインシデントを未然に防止するために、特に2つの重大事故については、現場での再現検証も行い、原因の分析、対策、是正を行うとともに各施設への展開も行いました。

ひのき工房（薪割り機で、右手中指先骨折）

ぽぷら八王子（自動機作業で、右手小指爪はがし）

- ③施設間の相互交流として、とぶきふねん職員が、ぽぷら八王子の職員会議に参加し、会議運営方法の良いところを取り込むことができました。

年間を通じて、以下の交流も実施し、相互交流を深めてきました。

第1回	5/14(火)	ぽぷら八王子・リボーン見学 ひのき工房、ふきのとう各 1 名
第2回	7/25(木)	施設間交流会 ひのき工房、ふきのとう各 1 名
第3回	11/2(土)	・ひのき工房祭りに各施設スタッフ利用者参加 ふきのとう(3名:内職員2名)ころ(2名内職員1名) ふねん(10名:内職員4名)ぽぷら(4名:内職員2名)
第4回	11/16、17	いちよう祭り:ひのき工房 4 名⇒ふきのとう訪問、 ふきのとう 1 名⇒ひのき工房訪問

期末手当は、法人研修レポート、施設事業計画への自己評価をもとに支給しました。

## 2. 施設長を補佐し、担当部門の事業運営に責任もてる主任・リーダーを育成するための本部研修については、施設まかせで本部としての研修は出来ませんでした。

次年度の活動として継続していきます。

## 3. 労働条件の改善

### 1) 働き方改革対応

- ①年次有給休暇の年 5 日以上取得の義務化に対しては、年休消化の少ない人に 5 日以上取得を義務付け、最低 5 日は、ほぼ消化しました。

- ②月 60 時間以上の残業の禁止と 36 協定による上限規制については、全施設、ほぼ実現できました。

- ③同一労働同一賃金に対応した規程を見直し、家族手当を廃止しました。

### 2) 賃金水準の改善 全施設平均 2%の賃金増額を実施しました。

### 3) 働きやすい職場をつくろう。

いくつかの職場で、相互不信によるギクシャクしたケースがありました。本部への訴えもあり、聴き取りを行いながら対応しました。その中で、報連相の不足を感じ、その後の施設長会や職員会議では報連相の重要性を訴えてきました。

## 4. 環境整備

- 1) ひのき工房、ふきのとう、ころぽっくるに桜の苗木を植えました。

- 2) ふきのとうが使い勝手の良くない 1 階和室等の大幅改修を行い、利用者・スタッフにとって有効に使えるようになったと思います。

- 3) ひのき工房では、利用者・スタッフによる植物図鑑作り班が活動を始めました。ホームページを見て感想などご意見下さい。

## 7. 中長期経営計画に基づく事業計画の実施

- ① ひのき工房別館（子ども食堂として提供）の建設、周辺の排水、フェンス改修。
- ② ふきのとうの施設改修では、昨年を引き続き、1階の和室の改造を実施しました。
- ③ 2015年（H27年）に作成した第一次中長期（H28年～R2）計画が既に4年を経過し、あと1年となりましたが、ころぼっくるの赤字解消ができず、人材育成も含め再度事業計画及び中長期計画の見直しを進めていきます。
- ④ 福祉予算の実質的な削減の流れの中で、利用者のより良い支援を維持しながら、同時に働くスタッフの労働条件を改善していくという困難な課題への対応。

### ・運営を支える人的要因

チームOJTの理解を深めることが出来、今後、組織的な人材育成に結び付けていきます。

### ・外部からの支援・援助の活用

きょうされん活動による食事提供体制加算の継続のための請願活動に参加  
共同募金会の継続した募金活動で、A配分による送迎車の助成購入（審査中）  
清水財団からの軽トラックの助成購入（2020.1決定）

## 8. 台風・豪雨災害の見舞金をカンパで集めお渡ししました。（金額円 | 人数）

施設名	利用者・御家族		ボランティア・職員他		合計	
とぶきふねん	9,400	9	20,362	9	29,762	18
ぼぷら八王子	20,421	14	12,087	8	32,508	22
ころぼっくる	27,990	6	7,300	9	35,290	15
ひのき工房	3,854	33	21,798	24	25,752	57
ふきのとう	500	1	3,424	10	3,924	11
本部			11,000	2	11,000	2
合計	59,725	63	74,286	62	138,236	125

支援先：高尾青年の家福祉会のG.H、きょうされん自然災害支援基金

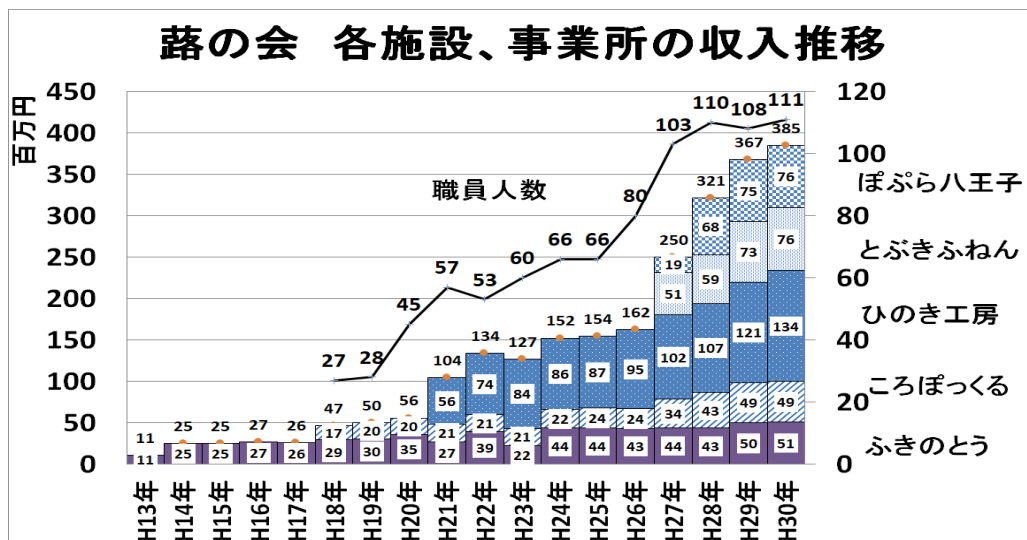
## 9. 法人設立20周年記念行事の準備 2001（H13）年9月

### ①資料集め

各施設にお願ひし、1999年9月10日機関誌No34に遡り、集めることができました。但し、抜けているところもあり資料管理に課題を残しました。

今後、法人の歩みが分かる資料として、データに変換するなどして本部で管理していきます。

### ②事業規模をあらゆる過去の会計情報、職員数をグラフ化し、事業の変遷がわかるようにしていきます。



# 2019年度 ふきのとう事業報告

社会福祉法人 露の会 ふきのとう

## I. 利用者支援

今年度も事業運営方針に基づく支援を継続してきました。

### ①利用者にとっての「社会参加の場」「居場所」「楽しく過ごせる場所」。

この3本柱を守っていくことが、私達ふきのとうの使命としてきました。利用者の意志と笑顔を大事にし、クラブ活動や木工作业以外の仕事など、一人ひとりが自分の強みを発揮できる環境づくりを行いました。

### ②木工作业では、作業量が大きな負担にならないよう調整しました。まずは利用者の支援が第一優先であります。時間は掛かりますが利用者の作った物にこそ価値があると考えます。

この2つの方針は、ブレずに継続してきました。利用者・家族には法人機関紙で伝え、職員にはミーティングなどで繰り返し伝え理解してもらうよう努めてきましたが、方針が浸透していない部分もあり課題が残りました。

職員は法人内研修で「人材育成研修」というテーマから、職員間の連携やチームワークについて多くを学び、日々の実践に活かしました。それにより利用者・職員共に成長し施設全体としてのチーム力がUPしました。具体的には生活介護とバランスのとれた生産活動が実現しました。多くの利用者が休むことなく毎日ふきのとうに通い、笑顔と誇りを持って生産活動に携わったことが、証明しています。

安定した収支により1階のリフォームを施工し、活動・作業室を拡げました。今まであった押入れを改装して誰にも気にせずプライバシーを保てる相談室、介助室を設けました。

### 1) 生活支援

家庭の生活に近い支援を目指し、その中で施設ならではの出来ることを提供し、より良い生活の質が向上していくよう皆で支援をしてきました。食事や排泄の支援、バイタル測定、リハビリ訓練、整容などで生活の質を高めてきました。適宜ケース会議を開き利用者の心身の状況変化を把握し、支援の方向性を検討、情報を共有し現場での統一した支援にフィードバックしました。

また、嘱託医の診察、月に1度の歯科衛生士による口腔機能の指導、健康診断を実施し利用者の健康増進に努めました。

クラブ活動ではハンドベルクラブが毎年恒例の福祉まつり・後援会総会でのライブを開催し観客を盛り上げました。利用者の方々は音楽療法を兼ねての活動にポテンシャルを発揮しています。絵画クラブは、型に捉われず自分の感性を出し作品を作りあげています。料理クラブは食への探求心を大切に楽しい活動を展開しました。他は障害者運動の会等と就労とはまた違った自己実現にそれぞれ充実していました。

行事は花見、一泊旅行、福祉まつり、後援会総会、ふれあい運動会、いちよう祭り、忘年会、手作り作品展を実施しました。

## 2) 就労支援

各個人に合わせた作業を考えました。今年度は製品の色塗り作業を特に力を入れ作業の幅を広げ、利用者の強みを見出しました。麻痺があろうと手の可動に制限があろうと正確に行っていたことなどに新たな発見がありました。

また、地域の情報誌（ショッパー）に製品が掲載され注文もあり、施設全体で喜び、今後の作業の大きな励みになりました。

## II. 木工事業

・木工の受注では、はちベビギフト、おもちゃ美術館、KURUMIRUを中心に例年どおり注文がありました。受注以外では、八王子東特別支援学校、わたぼうし祭、わくわく祭、いちよう祭などの出店やふきのとうでの店頭販売を行いました。

## III. 地域との交流

・日々の施設周辺の掃除、また十二社の清掃に参加しております。リサイクル回収などでは近隣で協力して下さるご家庭が増えました。近隣の方々とは以上の活動を通じて関係を深めていきました。

## IV. 研修・職員ミーティング

- ・法人内研修～「安全に送迎を実施するためには」参加職員 3 名、「人材育成研修」参加職員 4 名、「戸吹不燃見学・リポーン事例検討会」参加職員 2 名
- ・法人外研修～市が主催する虐待防止研修（2 回）参加職員 1 名「他事業所と交流会」参加職員 2 名「日中事業所連絡会全体会」参加職員 1 名
- ・職員ミーティング～「毎日の朝礼（情報共有）」、「送迎後に 1 日のケース検討」「週 1 回の定例会議」、「月 1 回のケース会議」

## V. 防火・防災対策

- ・年に 2 回（9 月火災・3 月地震）、消防署と連携し避難訓練を実施し、災害時必要な物品を備蓄しています。
- ・1 階のリフォームにより、避難経路が解りやすくなりました。
- ・環境整備委員会の助言で垣根の剪定など安全な環境を整えました。

## VI. 実地検査

- ・11 月の八王子市の定期指導（サービス提供記録に利用者からの確認を毎日受けること）に基づきサービス提供記録の書式及び記録方法などを改善しました。

## VII. 職員体制

施設長	1 名	職業指導員	1 名
支援員	8 名	看護師	1 名
事務員	1 名		

<介護福祉士・・・4 名、社会福祉士・・・1 名、保育士・・・2 名、看護師・・・1 名>

# 2019年度 ふきのとう

## (1). 利用状況

(人)

事業	項目	月												年合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	開所日数(日)	21	21	20	22	18	19	21	20	20	19	19	21	241
就労B	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	契約者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	延べ利用者数	72	74	60	70	51	61	69	67	61	55	61	68	769
	1日平均利用者数	3.4	3.5	3.0	3.2	2.8	3.2	3.3	3.4	3.1	2.9	3.2	3.2	3.2
	利用率(%)	34%	35%	30%	32%	28%	32%	33%	34%	31%	29%	32%	32%	32%
生活介護	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	
	契約者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
	延べ利用者数	219	214	200	227	187	183	207	181	174	187	192	196	2367
	1日平均利用者数	10.4	10.2	10.0	10.3	10.4	9.6	9.9	9.1	8.7	9.8	10.1	9.3	9.8
	利用率(%)	104%	102%	100%	103%	104%	96%	99%	91%	87%	98%	101%	78%	97%

## (2). 月次決算

### ①給付費収入

(円)

事業	月	月												年合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
当月	就労B	478,905	407,966	403,455	209,903	489,746	381,697	382,644	448,688	196,827	385,087	544,507	243,894	4,573,319
	生活介護	3,330,264	3,304,749	3,030,618	3,710,260	2,652,753	3,265,966	3,182,645	2,625,653	2,870,738	2,545,319	2,816,967	2,588,769	35,924,701
	合計	3,809,169	3,712,715	3,434,073	3,920,163	3,142,499	3,647,663	3,565,289	3,074,341	3,067,565	2,930,406	3,361,474	2,832,663	40,498,020
	予算対比率(%)	108%	84%	83%	110%	94%	116%	93%	80%	93%	86%	94%	73%	93%
	昨年度	3,530,222	4,415,578	4,125,446	3,579,002	3,355,983	3,155,270	3,823,312	3,826,992	3,313,012	3,388,196	3,574,451	3,883,358	43,970,822
累計	就労B	478,905	886,871	1,290,326	1,500,229	1,989,975	2,371,672	2,754,316	3,203,004	3,399,831	3,784,918	4,329,425	4,573,319	4,573,319
	生活介護	3,330,264	6,644,971	9,665,631	13,375,891	16,028,644	19,294,610	22,477,255	25,102,908	27,973,646	30,518,965	33,335,932	35,924,701	35,924,701
	合計	3,809,169	7,531,842	10,955,957	14,876,120	18,018,619	21,666,282	25,231,571	28,305,912	31,373,477	34,303,883	37,665,357	40,498,020	40,498,020
	予算対比率(%)	108%	95%	91%	95%	95%	98%	97%	95%	95%	94%	94%	92%	96%
	昨年度	3,530,222	7,945,800	12,071,246	15,650,248	19,006,231	22,161,501	25,984,813	29,811,805	33,124,817	36,513,013	40,087,464	43,970,822	43,970,822

## ②当期(月)収支決算

(円)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
当月	就労支援事業収入	74,792	88,003	124,664	147,428	69,217	170,429	105,670	187,112	135,238	32,582	78,564	209,852	1,423,551
	” 支出	147,235	151,175	178,273	151,810	125,943	133,945	136,652	131,542	120,110	107,325	109,869	114,514	1,608,393
	” 収支差額	▲ 72,443	▲ 63,172	▲ 53,609	▲ 4,382	▲ 56,726	36,484	▲ 30,982	55,570	15,128	▲ 74,743	▲ 31,305	95,338	▲ 184,842
	福祉事業他収入	4,416,993	4,095,492	3,892,167	4,299,526	3,524,009	4,027,002	3,944,598	3,456,040	3,453,958	3,305,151	3,740,620	3,239,126	45,394,682
	” 支出	3,506,081	2,893,285	3,974,251	2,954,473	2,543,149	3,075,858	2,924,832	2,833,213	5,144,189	2,732,657	2,766,393	3,718,934	39,067,315
	” 収支差額	910,912	1,202,207	▲ 82,084	1,345,053	980,860	951,144	1,019,766	622,827	▲ 1,690,231	572,494	974,227	▲ 479,808	6,327,367
	収支差額合計	838,469	1,139,035	▲ 135,693	1,340,671	924,134	987,628	988,784	678,397	▲ 1,675,103	497,751	942,922	▲ 384,470	6,142,525
累計	就労支援事業収入差額	▲ 72,443	▲ 135,615	▲ 189,224	▲ 193,606	▲ 250,332	▲ 213,848	▲ 245,270	▲ 189,700	▲ 174,572	▲ 249,315	▲ 280,620	▲ 199,188	▲ 199,188
	福祉事業他収支差額	910,912	2,113,119	2,031,035	3,376,088	4,356,948	5,308,092	6,327,858	6,950,685	5,260,454	5,832,948	6,807,175	6,327,367	6,327,367
	収支差額	838,469	1,977,504	1,841,811	3,182,482	4,106,616	5,094,244	6,083,028	6,761,425	5,085,882	5,583,633	6,526,555	6,142,085	6,142,085
	予算対比率	115%	107%	102%	112%	92%	105%	103%	90%	90%	86%	98%	85%	99%

## ③生産活動収支

(円)

科目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
収入	木工	67,820	84,120	118,820	100,820	62,220	166,255	94,164	181,699	128,820	26,230	24,820	203,322	1,259,110
	リサイクル				36,010							48,490		84,500
	その他	6,972	3,883	5,844	10,598	6,997	4,174	11,506	5,413	6,418	6,352	5,254	6,530	79,941
	収入合計	74,792	88,003	124,664	147,428	69,217	170,429	105,670	187,112	135,238	32,582	78,564	209,852	1,423,551
支出	工賃	140,490	145,425	123,325	145,860	120,343	106,565	121,232	112,153	96,370	104,900	113,895	112,804	1,443,362
	諸経費他	6,745	5,750	54,948	5,950	5,600	27,380	15,420	19,389	23,740	2,425	▲ 4,026	1,710	165,031
	支出合計	147,235	151,175	178,273	151,810	125,943	133,945	136,652	131,542	120,110	107,325	109,869	114,514	1,608,393
収支差額		▲ 72,443	▲ 63,172	▲ 53,609	▲ 4,382	▲ 56,726	36,484	▲ 30,982	55,570	15,128	▲ 74,743	▲ 31,305	94,808	▲ 185,372
前年度	収入合計	94,139	108,420	156,353	137,016	114,264	155,232	202,956	246,033	152,320	219,775	83,422	188,703	1,858,633
	支出合計	164,550	155,103	152,487	160,190	186,515	142,288	163,805	167,243	143,945	140,283	139,993	155,140	1,871,542

## リフォーム (1F・外物置)



介助室 (ベッド室・畳部屋)・相談室



介助室① (ベッド)



介助室② (小上がり畳部屋)



相談室





物置への出口とロッカー室



階段下 物置



活動作業室スペース（元事務所）



事務所から見た活動作業室スペース



# 2019年度 ころぼっくる 事業報告書

運 営 法 人	社会福祉法人 蔦の会 理事長 岩澤 六夫
事 業 所 名	ころぼっくる
事 業 名	障害児通所事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業
定 員	(1) 放課後等デーサービス 10人 (2) 認定短期入所事業 4人 (3) 日中一時支援事業 6人
施 設 長	秦 淳一郎
職 員 数	施設長 (1) 常勤職員 (1) 非常勤職員 (14)

## < 1 > 事業実績報告

### ①放課後等デイサービス

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	217	214	213	217	169	155	158	155	130	128	121	122	1,999
人数	31	30	30	30	30	30	28	27	27	27	27	27	344

### ② 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする) 月当たりの支給量 5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	35	42	41	41	29	27	40	28	24	28	32	36	403
人数	13	16	15	16	10	12	14	11	10	11	12	14	154

### ③ 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象) 月当たり支給量56時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	302	286	261	294	279	230	256	237	214	236	246	175	3,016
回数	86	81	75	84	75	66	76	67	60	68	69	54	861
人数	25	24	21	24	18	16	21	18	19	17	17	13	233

## < 2 > 活動内容報告

### 1. 活動内容・・・～放課後等デイサービス～

- ・放課後デイにおいては、子どもたち自身がころぼっくるで身辺自立の獲得を学びつつ、子どもたち1人ひとりがころぼっくるでの居場所を獲得していきました。今年度は、子どもたち自身での始まりの会や帰りの会の司会も定着し、他者への関わり、声かけが増えることにより、仲間の好きなこと、苦手なことへの理解が進み、今はうれしそう、今は嫌そうと相手を理解していく子どもたちの姿を多く見られました。集団遊びの際も自分本位ではなく仲間を応援したり、相手のことも共に喜んだり仲間と共に楽しむ姿をたくさん見ることができました。また、ころぼっくる来所時の靴を脱ぐ、揃える、手洗い、連絡帳、水筒を出し、トイレに行って、水分摂取してからの自由遊びという一連の流れが低学年もしっかりと定着してきました。来所してからの自由時間では、DVDを見たり、パズル、塗り絵、ままごと遊び、マットを使ってのお家作りや音のなる絵本にバランスボールと一人ひとりが遊びを楽しみ、中には、後半の歌あそびでリクエストしたい曲を選曲したりと楽しみを持って過ごすことができていました。造形活動についても季節に合わせた壁面がよりころぼっくるを明るくさせていました。

## 2. 活動内容 ～日中一時支援・認定短期入所～

- ・日中一時、認定短期入所については、基本は定期的に利用される方がほとんどです。一人ひとりころぼっくるにきて楽しみにしている活動は様々で、カラオケだったり、DVD だったり、絵を描いたり、コラージュをしたり、職員との会話であったり、時には身体をまったりと休める場であったりと各々が自己の世界を楽しみつつ、他者への意識への深まりもあり、他の利用者の名前を呼んだり、時には、自分の好きなことを相手が嫌なことについては、少し我慢したりする姿や DVD を見ながら身体全身で踊る姿、今まで声をあまり出さなかった方がしっかりと声を出して歌を歌うようになったりと、場面の切り替えが難しかった方がこちら側のアプローチによりスムーズに切り替えることができたりと継続的に関わる中で生まれた変化を感じることができた一年となりました。

## < 3 > . 運営面について

### 1. 職員研修

#### ①<外部研修・見学>

- ・八王子特別支援学校学校公開
- ・児童発達支援管理責任者研修（都福祉保健局）
- ・障害者虐待防止研修（市福祉課）
- ・八王子福祉作業所見学
- ・第2高尾青年の家見学

\*施設外研修により新たな見識を学び、様々な研修を通す中でそれぞれが自らの振り返りに多く繋げることができた研修となりました。

#### ②<内部研修>

- ・法人研修の実施
- ・業務ミーティングの実施
- ・放課後デイ職員会議の実施

\*利用者のケース報告や実技演習を行い、業務の確認など情報の共有を図りました。

### 2. 地域との連携及び交流

#### ① 関係機関との懇談・連携

- ・八王子市障害者地域自立支援協議会子ども部会・・・施設長出席
- ・八王子市福祉課懇談（八障連）・・・施設長出席
- ・なみき福祉会 相談支援スペース「ゆめ」 懇談
- ・八王子子ども家庭支援センター 懇談

#### ② 地域交流

十二社祭・いちよう祭り・すずかぜ祭・富士森祭と地域行事にできる限り出かけ、児童、利用者の普段見ることができない表情、頑張りを垣間見ることができました。また、年間通じて、送迎ボランティア（1名）の方にご協力を頂きました。

### 3. おたよりの発行

#### <ころぼっくるだより>

- ① 今年度、登録者は88名となりました。
- ② 夏休み期間の8月を除き、年11回発行しました。
- ③ 利用者さんの「ある日のひとこま」を継続的に掲載していきました。

＜放課後デイころぼっくるだより＞

城山公園、宮ヶ瀬湖畔、服部牧場へのお出かけから夏の水遊びの様子、室内集団あそびでの盛り上がり様子（コロコロボール、歌あそび、造形等）、避難訓練の様子、中高生の姿を見てあこがれる小学生の姿、成長していく子どもたちの様子をおたよりを通して毎月伝えていきました。

#### 4. 環境衛生及び整備

- ① 建物・設備の点検を行い、安全な環境を作るよう心がけました。
- ② 東京都共同募金会（B配分）を通して、室内保育活動用備品の整備を行いました。  
（トランポリン・紙芝居・音のなる絵本・DVD等）

#### 5. 防災対策

- ① 定期的に防災機器や避難路の点検を実施しました。
- ② 避難訓練を実施し、児童、利用者と共に地震発生時の初動動作を確認しました。

#### 6. ヒヤリハット・事故報告

##### ①ヒヤリ件数

4月・・・3件    5月・・・10件    6月・・・6件    7月・・・3件    8月・・・4件    9月・・・0件  
10月・・・2件    11月・・・1件    12月・・・1件    1月・・・0件    2月・・・3件    3月・・・2件

\*職員一人ひとりが現場での気づきをヒヤリ報告にあげるという意識も高まり、「心地良く、安全に楽しく過ごせるためには」を第一に、安全で楽しい施設づくりができつつあります。

##### ②事故件数・・・1件

#### ＜4＞. まとめ

- ・2019年度は、働き方改革の推進に伴い、変形労働制の導入、開所日の変更と利用者の方々には、御協力いただき、職員の労働環境を改善することができました。放課後デイは週5日開所とする中で、基本、同じ職員が毎日、利用者の顔を見ることで日々の変化への気づきに早くなり、対応がよりスピーディーになりました。また、放課後デイにおいては、支援学校から支援学級、学年は小1から高校3年生までと受け入れ幅はありますが、上の子が下の子を支えるといった場面、下の子は上の子の姿を真似て学んでいく場面と異年齢で生活するからこそその良さがよく見えた1年でもありました。
- ・日中一時支援、認定短期入所は、各々の利用者がころぼっくるで行いたいことができる居場所を保障しつつ、定期的に利用され曜日ごとに出会う顔ぶれが一緒になります。利用者の嗜好や強みを活かした環境設定をする中、利用者自身の楽しさと居場所が両立したものとなっていました。
- ・職員教育においては、法人内研修、施設外研修により新たな見識を学び、施設内では、消防訓練、虐待防止研修等を実施してきました。様々な研修を通す中でそれぞれが自らの振り返りに多く繋げることができた研修となりました。
- ・関係機関の連携については、利用者の状況を家庭支援センター、支援学校、支援学級、作業所と共有し、制度上に関わる事柄については、八王子障害者団体連絡協議会と連携し、八王子市福祉課に現場の状況等を伝えていきました。

\*資金収支については、決算書よりご確認をお願いいたします。

# 2019年度 事業報告

社会福祉法人 蔭の会 ぽぷら八王子

## 1、2019年度 総括

①初めに今年度の大きな反省点は、労災を出してしまった事です。開設以来続いていた災害ゼロの記録は0からのスタートになりました。10月、メンバーが自動機のプッシャーに指を挟み、爪が剥がれるケガをしてしまいました。一つ事故が起きると続くもので、11月には交通事故が2件（後方車両に追突される事故と交差点で右折車を避けようとしてバイクで転倒事故）、そして1月には労災となる事故を起こしてしまいました。この事故はヒートシール機の調整の際に起きました。スタッフは機械が停止しているものと思い込み、側材の角融着機に手を入れてしまいました。機械は停止しておらず、熱刃が動き出し、左手の甲に3cm幅の火傷を負ってしまいました。これらの事故に関して、二度とないように対策を行いました。また、エフピコ様からも事故が起きない為の確認装置を取り付けてもらいました。

②2019年度は新しいメンバーが4名も増え、A型9名、B型8名になり、新しい風が期待できる年になりました。また、2017年に特別支援学校を卒業してすぐにB型として利用を開始したメンバーが2019年4月からA型に移行することができました。移行するために、少しずつ時間を伸ばし、検品を中心に作業をしました。休むことのないメンバーですが、高校を卒業したばかりということもあり、ルールを守ることや挨拶をすること、確認をすることの大切さを身に付けて貰うよう支援しました。この一年で随分成長が見られました。

メンバーの構成は知的障害者中心ですが、精神障害者も何名か在籍しています。利用開始から、さほど休むことなく、リーダーもお願いしているメンバーが夏休みを境に精神的な不安を抱えてしまい、出勤出来なくなる状況があり、それが現在も続いています。また、今年度入った2名のA型のメンバーも精神面からの体調不良であったり、一人暮らしを始めたことで生活のリズムが崩れてしまったりで、休むことが多くなり、支援の難しさを感じた1年でした。

### <利用状況>

就労日数 240日 (2020年3月)

項目	就労A	就労B	合計
定員(人)	10	10	20
契約者数	8	8	16
年間延べ利用者数	1,843	1,667	3510
1日平均利用者数(人)	7.7	6.9	14.6
利用率(%)	76.8	69.5	73.1

### <職員体制>

常勤職員	施設長・サービス管理者	1名
	職業指導員・生活支援員	5名
非常勤職員	生活支援員	2名
	事務員・送迎職員	2名

③生産管理の面では、分からないことはエフピコ愛パック（株）茨城工場の堀工場長に確認することができるようになりました。エフピコのS C M等の部署とのやり取りも、ぽぷら八王子がやり易いように間に入って頂けるようになり、生産を進めていく上では今までよりやり易く感じたと感じる一年でした。

## 2、生産状況

生産活動（毎月の出荷数と売上）

	4月	5月	6月	7月	
出荷数	705,729 個	694,000 個	679,360 個	826,100 個	
売上	2,313,748 円	2,473,416 円	2,421,239 円	2,944,220 円	
	8月	9月	10月	11月	
出荷数	731,150 個	673,960 個	786,330 個	790,060 個	
売上	2,605,819 円	2,401,993 円	2,446,474 円	2,867,918 円	
	12月	1月	2月	3月	合計
出荷数	790,170 個	813,380 個	755,965 個	894,870 個	9,168,135 個
売上	3,301,630 円	2,898,886 円	2,816,753 円	3,248,378 円	32,794,158 円

7月22日より1号機が稼働になりました。その影響で、7月は826100個の生産数を上げることができました。8月、9月は19日稼働でしたので、生産数はあまり伸びませんでした。10月以降は1日39000個の目標を達成しました。3月は22日稼働なので、894,870個の生産ができましたこれはぽぷら八王子開所以来最も多い生産数になりました。これらの目標が達成できたのも、工程表を目安に生産が遅れることのないようにスタッフが気配りしてきたからだと思います。

3月現在メンバーは16名、工場内スタッフ9名（含施設長）で、スムーズに稼働できる人数ですが、B型のメンバーの5名が15時30分には帰ってしまうため、15時30分以降が人員不足となり、忙しくなってしまう現状です。

生産状況での課題は、良品効率です。良品率を99%以上の達成を目標にしています。

## 3、フロアホッケーと余暇活動と地域交流

①2019年度も3回の大会に出場しました。4月には体験会を実施し、27名のメンバー・スタッフ・家族が参加しました。お昼には調理室を借りて焼きそばやケーキを作り、参加全員で食事をしました。

6月には関東甲信越大会で、長野に行き宿泊しました。今年度の観光は、溪流釣りを体験、釣った魚などでバーベキューをしました。その後は、さくらんぼ狩りという、体験型の観光になりました。ヤマメなどの魚を釣り上げるのを、メンバー・スタッフ共にとっても楽しみました。さくらんぼ狩りではさくらんぼにも色々な種類があることがわかりました。味も色々でしたが、どの種類もおいしかったです。参加者全員、意外とたくさん食べることができました。

10月はエフピコ杯全国競技大会に参加、今年度は参加人数が少なく、チームを構成することができなくて、スタッフが全員参加し、家族にも参加してもらおう大会になりました。今後はメンバーにも多く参加してもらいたいと思いました。



1月は東京都の交流競技会に参加しました。交流が目的のこの大会は、誰でも参加できる大会を目指しています。初めて体験に参加し、楽しいと感じたメンバーもいました。他のチームではメンバーも審判も行い、とても頑張っている姿が見られ、ぽぷら八王子のメンバーもスタッフも良い影響を受けたのではないかと思います。このような大会が増え、ぽぷら八王子のメンバーさんの参加率が増えてほしいと思います。

②フロアホッケー以外の余暇活動では8月の戸吹町のお祭りに、メンバー2名、スタッフ2名が、ご挨拶兼ねて参加しました。とぶきふねんのメンバーも参加していたので、交流することができました。

9月にはオギノパンの工場見学と牧場でのバーベキューを実施しました。初めての試みでしたが、天候にも恵まれ、牧場ではアイスを食べたり、牛や羊を見たりしてゆったりとした一日を過ごすことができました。2020年度にはこのようなレクを増やしたいと考えています。

#### 4、安全衛生と健康管理

①災害ゼロを目標とした1年でしたが、冒頭に述べたように、労災を発生させてしまいました。今年度もスタッフ、メンバーはヒヤリハット報告を行い、災害に対して意識付けをしてきました。危険に対しても各自が少しでも予測できるように考える習慣を身に付ける危険予知とレーニングも行いました。また、安全衛生会議を月一回行い、スタッフが安全パトロール結果を報告し、他工場・他施設での災害報告も受けながら、一人ひとりが安全や衛生について常に考えていくようにしてきました。しかし、“事故や災害はいつ起こるかわからない”ものだと全員が認識できたと思います。特にスタッフは、普段からリスクについて考え、ヒヤリハット報告をし、ヒヤリハット一つひとつを改善していかなければならないと感じました。

②健康管理としては年一回の健康診断の実施とインフルエンザの時期には、全員に予防接種を行いました。特にコロナウイルスが発生した3月からは朝、入場時、昼、退勤時に検温を実施し、手洗い、手指のアルコール消毒の徹底、できる限りの換気を行いました。また、メンバー向けに予防のための勉強会を実施しました。（この報告書を作成している5月上旬現在感染者はいません）

③2019年度も八王子配送センターとの合同での避難訓練2回に参加しました。また、消火器訓練・消火用のホースにて実際に放水の訓練にも参加しました。メンバーが進んで参加することができました。

#### 2019年度 見学者一覧

月日	見学者	人数
4/4	就労支援センターふらん	2
4/5	実習希望者	1
4/5	障がい者就労支援・生活支援センター「あるって」	2
4/8	サポートセンター「あすく」	2
4/18	就労支援センターふらん	2
4/23	サポートセンター「あすく」	3
5/13	サポートセンター「あすく」・	2

	相談支援センター「をとん」	
5/17	サポートセンター「あすく」	1
5/24	実習希望者	1
5/28	グループホームぐりーん	1
6/14	B型利用希望者	1
6/19	実習希望者	2
7/2	実習希望者	2
7/3	サポートセンター「あすく」	1
7/4	日本水産株式会社	2
7/5	実習希望者	1
7/11	障がい者就労支援・生活支援センター「あるって」	4
7/12	実習希望者	1
7/18	エフピコ市場開発部 金平行広氏（個人的に）	4
7/19	武蔵野市障がい者支援センター「あいる」	3
8/3	家族見学会	7
8/9	武蔵野市障がい者支援センター「あいる」	32
8/21	実習希望者	2
8/26	東京都立八王子特別支援学校高等部3年・保護者	2
8/30	就労支援センターふらん	2
8/30	グループホームフレンドィメゾンもとはちおうじ	2
9/9	ふじみ野市民生委員	10
9/26	障がい者支援センター「いまここ」	3
11/12	実習希望者	3
12/19	武蔵野市障がい者支援センター「あいる」	1
12/19	東京労働局	2
12/20	実習希望者	1
2/15	家族見学会（3月実施予定のものは中止）	5
2/25	社会福祉法人武蔵野千川福祉会	6

# 2019年度事業報告

社会福祉法人 蒔の会 ひのき工房

## 1. 利用状況と職員体制

本年度4月から八王子特別支援学校卒業生1名も加わり利用者さんは56名でスタートした。ところが、当施設は、高齢の利用者さん、持病のある利用者さんの通所率が高い中、上半期は入院する方(6名)が続出し4月、5月の利用率は70%台にとどまった。

下半期は、両事業とも利用率90%を超える月が増え、2月、3月の新型コロナウイルス感染症による影響は少しあったものの、ほとんどの利用者さんは、安定して通所できた。(3月 自主的自宅待機者2名)

3月末現在、利用契約者数、利用者数共に、就労B 37名、生活介護18名、合計55名。

昨年度の報酬制度改定による大幅な給付費減額(就労B)となる厳しい年度となったが、職員体制については、昨年度までの短時間勤務職員が4月からフルタイム職員として3名加わり、体制強化を図った。年度途中のフルタイム職員3名退職の補充は短時間勤務職員でカバーし、年間の職員入職者4名(フルタイム職員1名、短時間勤務職員3名)、現在は合計25名の職員体制。職員は、互いに協力し合い、同じ方向をむいて業務に励み、チームワークは格段にアップした。

### 1) 利用状況 別紙1参照

開所日数 281日

項目	就労B	生活介護	合計
定員 (人)	28	12	40
1日平均利用者数 (人)	24.0	10.2	34.2
利用率 (%)	85.8	84.8	85.5

### 2) 年間延利用者数推移

(人)

年度 事業	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	2019
就労B	3,326	3,790	4,512	4,886	4,808	5,493	5,071	5,109	6,450	6,633	6,748
生活介護	1,540	1,706	1,908	2,037	2,083	2,124	2,166	2,395	2,196	2,639	2,859
合計	4,866	5,496	6,420	6,923	6,891	7,617	7,237	7,504	8,646	9,272	9,607

・入所者5名(就労B 4名、生活介護 1名)

・退所者4名(就労B 3名、生活介護 1名)

### 3) 職員スタッフ体制(3月末現在)

・ひのき工房職員25名、ボランティア4名

常勤職員	施設長	1名
	サービス管理責任者	1名
	職業指導員・生活支援員等	10名
	事務員	1名
非常勤職員 (短時間勤務職員)	職業指導員・生活支援員等	2名
	調理員 (含 職業指導員・生活支援員兼務)	3名
	看護師	1名
	理学療法士	3名
	事務員他	3名

## 2. 生産活動等

生産活動等売上：別紙2-1，2-2参照

当初、年間総売上目標は、1,778万円だったが、年間総売上実績は、16,178,209円、前年度売上より約200万円の減収となった。利用者の皆さんへの期末手当の不足分50万円は工賃積立金を取り崩して支給した。

- ・ 就労B：週1日から利用する全員の平均月額(含ボーナス) 25,000円
- ・ 生活介護：週1日から利用する全員の平均月額(含ボーナス) 13,680円

### 1) 木工事業

- ・ 木工品製作を通して拓殖大学デザイン科の授業の講師として参加、当施設内での実習等交流をもち、学生と共同で新製品の開発に取り組んだ。
- ・ KURUMIRUより製品塗料乾燥不良、色付きによる返品があり、納品時のチェックを2人態勢で行うよう対策を図った。また、店頭でできてしまう製品のキズによるおもちゃの返品もあった。
- ・ 個々の利用者さんの磨き道具を使い易く改良し、ゴム手袋を使用するなど利用者さんの作業をやり易くした。
- ・ 道の駅等委託販売店の納品やイベントの準備(包装・値付け)など、利用者さんが担当して計画的に段取り良く行えるようになった。
- ・ 消費税変更時に、製品価格を見直し、数点の値上げを行った。
- ・ 利用者さんからの希望もあって大幅な席替えを行い、利用者さん同士のコミュニケーション、作業場の雰囲気がさらに良くなった。
- ・ 磨き室と機械室との連携が順調に進み、利用者さんへの安定した磨き材料提供につながった。

### 2) リサイクル事業

- ・ 前年度からの古紙相場下落が止まらず、古紙取引価格は半値以下になり、年間売上は3,357,940円で、昨年度売上の6割にとどまった。新年度に向けて、それぞれの顧客回収先にアンケート等を実施しながら、有料回収切り替えに理解をいただき実施することとした。
- ・ 体力もあり身体を動かす作業の合っている利用者さんが増えたこともあり、リサイクル作業の希望者が増えた。暑い中でも大雨でもパッカー車やダンプ車に乗り込み資源回収に励み、夏休みや正月休み等の連休中も通所して積極的に回収作業に励んだ。
- ・ 地元元八2丁目町会・3丁目町会の集団資源回収は、共に順調に回収を行うことができた。(合計10回)
- ・ 2月、3月は新型コロナ感染症対策としてアルコールを持参し回収毎に手の消毒を実施した。
- ・ 個々の利用者の良いところを伸ばし、苦手なことを克服して一つでも多くのことができるように支援するとともに、回収先でのマナー(挨拶・言葉使い・接し方)やチームワークを大切にされた支援を行った。それらにより、個々の社会人マナーが向上し、利用者の仲間同士が障害の種別に関係なくお互いを思いやり、助け合うことができるようになってきた。
- ・ 7年目を迎える八王子市委託事業の薪作り作業では、担当できる利用者さんが増え、交代して取り組めるようになったが、11月に利用者さんの指先骨折事故、1月に職員の指創傷事故(労災)を起こしてしまった。2件の事故は薪割り機の操作時に起こしたもので、事故の原因を明確にすると共に対策を取り、「指差し呼称確認」、「レバー操作時に木材には直接触らない」等の徹底を図った。

### 3) 霊園清掃作業

- ・ 年間売上は、今年度も安定して500万円を超え、各作業の中では1番の売上になった。
- ・ 4年目の霊園清掃作業では、効率よく進められるよう分担制を取入れ改善を図った。
- ・ 利用者さんも草取り作業ができるようになり、それぞれが責任を持って取り組み、職員と利用者さんと協力しながら作業を進めることができた。
- ・ 作業内容（契約2件）
  - ① 通路と側溝の落ち葉取り作業
  - ② 霊園全体の清掃作業（藪刈り、草取り、落ち葉取り、しきみ取り、塔婆処理、ごみ処理等）

### 4) お菓子作り

- ・ 年間売上目標の72万円を大幅に超えて売り上げを伸ばし、120万円以上の年間売上実績を上げた。
- ・ 多摩森林科学園、八王子東特別支援学校夏祭り、わたぼうし祭り、オンガタマルシェ、南大沢アースフェス等、新たなイベントでの出店販売に参加し売上アップに繋がった。
- ・ 委託販売では、6月に高尾駅の一言堂と契約を結ぶことができ、毎月一定額の売上に繋がった。しかし、印字ミスや商品の引き上げ漏れの指摘を受け、印字ラベルの改良を図った。（お客様のクレーム1件）
- ・ 作業に入る利用者さんも様々なイベントを目標にお互いに協力し合い、作業効率も少しずつ伸びてきた。しかし、体調不良等による休みがちな方もいて、利用者さんの健康管理は、今後の課題である。
- ・ 食品調理作業のため作業時には帽子・白衣を着用する等、衛生面には充分注意を払って作業を行い、衛生面でのクレームはなかった。

### 5) 野菜作りと販売

- ・ トマト、キュウリ、なす、ピーマンなど夏野菜の他に、大根、ニンジン、ほうれん草をたくさん作り、厨房でも使ってもらい、施設内販売でも新鮮でおいしい有機無農薬野菜は利用者の皆さんにも喜ばれた。
- ・ 今年度もニンジン、ブルーベリー、夏みかん、八重桜、レモングラス等をお菓子作りに使った。
- ・ 野菜の収穫・洗い・袋詰め・販売は、生活介護の利用者さん数名が担当し、いきいきと楽しそうに販売に携わった。
- ・ 年間売上 313,490円

### 6) 清掃、食器洗い、パソコン、請負作業等

- ・ 木工やリサイクル作業が合わない利用者さんに対して希望や適性を見ながら作業を担当していただいた。また、特別な能力のある利用者さんには、その能力にあった作業を担当
- ・ パソコン作業は、個々の技術が向上し、ひのき工房便り作成に大きく貢献した。また、操作が出来るようになったことがモチベーションや自信に繋がった。
- ・ 利用者担当作業内容
  - 清掃・消毒作業 館内（食堂・階段掃き掃除他） 8名
  - 厨房 食器洗い・片付け 2名
  - パソコン作業 ひのき工房便り・給食メニュー表・書類清書・送迎運行記録表作成 5名
  - イラスト描き ひのき工房便り 1名



## 7) 生活介護

- ・ 生活介護では、特に利用者さん同士のつながりを大切に協力しながら作業できるように努めた。
- ・ 切手分別・貼り作業は、生活介護で希望する利用者さんが多く、みんなで顔を見合わせながら同じ種類の作業を行い、利用者さん同士のコミュニケーションも増え協力し合いながら楽しく作業ができた。
- ・ 春の一泊旅行用に焼ペンで書いたひのき材の名札を製作し、利用者・職員に配布し好評だった。
- ・ ネジセット作業にチャレンジし、利用者さんも集中して作業に取り組める良い作業だったが、その会社は倒産し残念ながら請負作業は終了した。
- ・ 2月から始めたゴルフボール磨き作業は、希望する利用者さんもいて継続して行うこととした。
- ・ 生活介護での主な作業活動内容  
切手分別・貼付作業、霊園清掃作業、お菓子作り、木工作業、ゴルフボール磨き、パソコン作業、清掃作業、野菜販売、創作等

## 3. 利用者個別支援等

- 1) 利用者それぞれに担当職員を決め（担当職員体制）支援を行い、利用者の要望や相談に乗り、利用者支援の充実を図った。
- 2) 将来の生活を見据えた支援の必要な利用者さんに対し、グループホーム、相談支援事業所等と連携し支援を進めた。それにより、利用者さんの成長につながり、生活も通所も安定した。
- 3) 毎朝、利用者と職員の全体ミーティングを実施し、週スケジュール・当日の作業等の連絡、イベント販売売上報告、利用者個人の発表などを行い、利用者・職員間で情報を共有した。その際、ほとんどの作業連絡を職員に代わり前に出て利用者さんが積極的に発表した。
- 4) 休み時間の開始・終了の放送、ミーティングの開始放送、ラジオ体操音楽開始操作、作業終了前の台布巾配り、ごみ回収、ドアノブ・手すり消毒、清掃等、毎日利用者さんはそれぞれの担当を主体的に責任持って取り組んだ。

## 4. 利用者健康管理

- 1) 毎月嘱託医訪問相談を実施、地元医療機関八王子保健生活協同組合との連携が定着 別紙3参照
  - ・ 城山病院・嘱託医師には、リハビリの指導、インフルエンザ予防接種、健康診断など、利用者健康管理に大きな力になっていただいた。（予防接種・健康診断結果報告は施設内で実施）
  - ・ リハビリ希望の利用者に毎月3～4回程度、はちせいのご協力で理学療法士リハビリを実施できた。
  - ・ 嘱託医師の指導を受け、その人に合わせた歩行リハビリ、フィットネスバイク、体操、積み木を使った手のリハビリ等は、職員が付添い、今年度も利用者の毎通所日に継続して行った。
- 2) 年度当初より、病気入院の利用者さんが続出。（6名 内長期入院の方3名）

## 5. 行事等主な年間活動報告 詳細は別紙4参照

- 1) 今年度も出来るだけ利用者の希望を取り入れながら、皆さんが楽しめるレクリエーションを企画し実施した。（宿泊旅行、日帰り旅行、外出レク、花火会、ゲーム交流会、カラオケ会、クリスマス会等）
- 2) 昼休みは、職員も一緒に楽しいひと時を過ごし、トランプやウノ、将棋、散歩、卓球などのレクリエーションや会話を楽しんだ。
- 3) 近隣の方のご厚意で始めたアロマセラピー体験は、今年度も月1回定期的に継続実施できた。（1回に5～6名体験）

- 4) 今年度も利用者の絵画等のカレンダーを作製販売、5名の作品を使用、壁掛けとスタンド型の2種類作製。
- 5) 6月の後援会総会でふきのとうハンドベルとひのき手話コーラスは「星に願いを」の曲で念願の初コラボを実現できた。
- 6) 10月の台風による豪雨災害支援募金を行い、被害を受けた八王子市の高尾青年寮グループホームときょうされんに本部からまとめて支援金をお渡しした。(募金合計額138,236円、内ひのき工房25,752円)  
また、同月に赤い羽根街頭募金を行い、全額を東京都共同募金会に送付した。(募金額80,090円)
- 7) 第34回東京都障害者総合美術展に入賞。7月、西武池袋本店で行われた授賞式に出席、小池都知事より賞状を授与。 優秀賞 : 今井隆氏 水彩画「幻想的なパラリンピック」
- 8) 第34回八王子市障害者文化展に入賞。1月、八王子東急スクウェアで行われた授賞式に出席、八王子市社会福祉協議会会長より賞状を授与。  
社会福祉協議会会長賞 : 本宮政吾氏 水彩画「ムーンライト」
- 9) 利用者・職員で担当チームを作り、当施設敷地内の花木を観察し写真を撮る等、2か年計画で植物図鑑作りを進めていたが、10月に第1版が完成、11月のひのき工房祭りで展示。

## 6. 地域交流・地域貢献を進めた

- 1) 今年度も毎月1回、第2土曜日の「子ども食堂」に別館をお貸しし地域活動に協力、また、利用者・職員も調理、受付等に協力した。
- 2) 学校運営委員も3年目となり、小・中学校の花壇の草取りもほぼ毎月理事長と共に職員も毎月行って喜ばれた。
- 3) 城山小学校の6年生の木工授業に協力
- 4) 元八2丁目町会・3丁目町会・地元中学校・小学校など地域ぐるみの合同総合防災訓練に利用者・職員等26名が参加(11月)、また、元八2丁目特防隊員として職員2名が活動、災害時における地元町会との連携体制強化を図った。その他2丁目夏祭り、餅つき会、新年会、旅行等に参加、交流を深めた。
- 5) ひのき工房便りを毎月発行、行事など月間の予定や活動の様子、写真で利用者さんの様子などを掲載し、利用者・ご家族の皆さんへお伝えした。また、地元町会の方たちへの配布も継続して行った。
- 6) 11月に毎年恒例の「第11回ひのき工房祭」を開催。城山中学校OGのバトンダンス、城山小学校生徒さんのダンス、散田小町太鼓の皆さまにご出演頂き交流を深めた。当施設からは、手話コーラスが参加した。
- 7) 拓殖大学・株式会社LDF(レーザー加工)と「産学・福学連携」で木工製品製作を行い、デザイン学科授業、プレゼンテーションに参加、学生さんデザインのオリジナル木工品が数多く仕上がった。それらの協力に対し、拓殖大学・株式会社LDFより感謝状の盾を頂いた。また、当施設内での実習では、利用者さんも学生さんと活気のある楽しい時間を過ごし、さらに、ひのき工房祭り、いちよう祭りにも参加していただき交流を深めた。

## 7. 職員研修

詳細は別紙5参照

職員の資質向上と支援スキルアップを目指し研修を実施

- 1) 法人研修(2回 含講師訪問研修)に参加した全職員は、レポートを提出

- ・安全運転講習会では、講師として村田石油様にご協力いただいた。  
車いすのシートベルトは今まで行っていた方法では不十分だったことが判明、安全で正しい方法を教えていただいた。
  - ・「チームOJT研修」は、新人職員も先輩職員も共に成長する機会であり、チームとして取り組む大切さを学んだ。今後も継続して、OJT研修に取り組んでいく。
- 2) 「感染症・誤嚥について」外部の看護師さんに講師で来ていただき、勉強会を実施。職員は感染症の基礎知識を身に付け、流行しはじめの新型コロナウイルス予防対策にも早めに取り掛かることができた。
  - 3) 支援方針に基づき各事業部毎に作業等支援方針・留意点等をまとめた支援一覧表を作成、職員間で情報を共有し、支援のマニュアル化を進めた。
  - 4) 職員は、サービス管理責任者基礎研修(1名)、八王子市虐待防止研修、他外部研修に参加。

## 8. 職員会議・職員業務ミーティング

- 1) 職員会議は、毎週木曜日夕方に実施(正規・フルタイム職員は出席)
- 2) 職員業務ミーティングは、毎朝10時前に行い、また、下半期では毎日夕方にも業務ミーティングを行い、利用者さんの様子等情報を共有し、職員間の連携を図った。
- 3) 毎朝、法人の理念・支援方針等を唱和、職員の利用者さんへの笑顔で明るい支援の意識付け、報連相の徹底、チーム連携の大切さの意識付けを継続した。

## 9. 環境等整備他

- 1) 館内や建物周辺を職員、利用者で担当して毎日清掃を実施し、5Sに努めた。
- 2) 各作業部から出た環境課題に環境委員が対応し、指摘箇所の改善を図った。  
(別館通路にライト設置、2階に鍵付きロッカー設置、延長コードカバーを設置等)
- 3) ねずみ害虫検査・駆除・防除実施(年2回)、排管・グリストラップ清掃実施(年1回)
- 4) 露の会后援会のご支援を受けて、利用者全員の団体生命共済保険加入を実施
- 5) インフルエンザ予防等のためドアノブ等は年間を通しサライウォーター消毒を継続実施した。  
利用者さんも担当に加わり、責任を持って行っていた。2月以降は、新型コロナウイルス予防のため、消毒回数を増やし、床等の消毒も開始、利用者・職員の朝の検温、送迎乗車前検温、来館者検温等も実施し、予防対策の徹底に努めた。また、しっかりとこまめな手洗い、アルコール消毒、マスク着用を毎日利用者呼びかけ、ご家族の皆様にもお手紙を配布し予防対策にご協力いただいた。
- 6) 清水基金様より助成を受け、念願の軽トラックを購入することができた(3月下旬)。この車は、来年度よりリサイクル新事業(おかたづけ隊)等で使用する。

## 10. 防火・防災・安全対策等

- 1) 避難訓練実施(9月)  
町会合同総合防災訓練に参加(11月・城山小学校)  
利用者19名、職員等12名、地元住民約200名、消防職員、先生等  
避難、消火、通報、煙、震度体験(起震車)、応急救護(AED)、炊き出し訓練
- 2) 消防設備点検を2回実施(9月、3月) 機器点検・総合点検 ― 点検結果報告書を消防署へ提出
- 3) インシデント報告 33件、事故報告 6件(内労災事故1件、八王子市報告事故1件、2P2)に記載)

## 2019年度 利用状況一覧

事業 項目	月 項目	(人)													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
就 労 B	開所日数 (日)	25	26	23	28	25	21	24	23	22	21	22	21	281	23.4
	定員	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336	28.0
	契約者数	37	36	37	37	37	37	38	39	39	39	37	37	450	37.5
	利用者数	37	36	35	35	37	37	38	38	39	38	37	37	445	37.1
	延べ利用者数	542	541	582	619	489	543	626	572	584	559	541	550	6,748	562.3
1日平均利用者数	21.7	20.9	25.4	22.2	19.6	25.9	26.1	24.9	26.6	26.7	24.6	26.2	—	24.1	
利用率 (%)	77.4%	74.3%	90.4%	79.0%	69.9%	92.3%	93.2%	88.8%	94.8%	95.1%	87.8%	93.5%	—	85.8%	
生活介護	定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12.0
	契約者数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	19.0
	利用者数	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	18	18	218	18.2
	延べ利用者数	230	244	254	277	217	238	258	225	239	231	215	231	2,859	238.3
	1日平均利用者数	9.2	9.4	11.1	9.9	8.7	11.4	10.8	9.8	10.9	11.0	9.8	11.0	—	10.2
利用率 (%)	76.7%	78.2%	92.0%	82.4%	72.3%	94.4%	89.6%	81.5%	90.5%	91.7%	81.4%	91.7%	—	84.8%	

## 2019年度 生産活動年間売上表

## ひのき工房

科目	(円)												合計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
収入																	
木工	200,121	302,744	178,875	304,710	216,134	161,559	231,786	446,489	411,208	243,377	260,103	320,281	3,277,387				
野菜	0	19,000	38,350	9,500	60,590	1,000	14,780	107,790	9,600	19,980	21,250	11,650	313,490				
リサイクル	427,816	395,999	285,910	268,172	139,518	298,068	271,084	196,957	311,118	264,848	235,606	262,844	3,357,940				
薪割	58,320	158,004	136,026	178,794	77,814	111,078	0	303,391	117,975	127,655	83,490	121,605	1,474,152				
仕入品販売	10,529	27,553	47,897	11,914	14,455	9,174	11,535	205,749	9,989	239,517	11,762	19,255	619,329				
切手	14,405	22,539	32,200	30,237	24,141	31,519	27,186	19,007	25,214	57,411	12,814	17,229	313,902				
お菓子	30,000	73,640	85,450	43,235	120,620	75,231	95,298	261,151	156,586	73,290	79,994	182,325	1,276,820				
霊園清掃	3,000	6,000	783,244	2,663,600	0	6,000	0	71,900	0	314,200	1,473,000	13,000	5,333,944				
その他	13,996	21,643	23,208	17,603	9,785	0	14,962	25,039	53,570	4,900	14,668	13,111	212,485				
合計	758,187	1,027,122	1,611,160	3,527,785	663,057	693,629	666,631	1,637,473	1,095,260	1,345,178	2,192,687	961,300	16,179,449				
支出																	
工賃	830,370	837,201	1,810,954	956,826	752,201	860,364	972,249	887,520	1,686,322	853,077	818,330	2,842,599	14,108,013				
諸経費他	309,941	178,574	260,534	98,932	201,306	164,615	327,192	430,587	172,315	314,385	339,204	-225,541	2,572,044				
支出合計	1,140,311	1,015,775	2,071,488	1,055,758	953,507	1,024,979	1,299,441	1,318,107	1,858,637	1,167,462	1,157,534	2,617,058	16,680,057				
収支差額	-382,124	11,347	-460,328	2,472,007	-290,450	-331,350	-632,810	319,366	-763,377	177,716	1,035,153	-1,655,758	-500,608				
収入合計	1,504,847	1,588,022	816,784	659,654	3,381,640	853,044	1,248,855	1,836,799	1,099,005	1,580,652	982,634	2,631,635	18,183,571				
支出合計	949,270	976,938	964,559	2,076,704	957,951	829,114	1,077,148	1,514,434	2,280,342	1,264,539	983,993	4,307,490	18,182,482				
前年度																	

工賃積立金取り崩し 503,000



## 2019年度 イベント年間売上表 ひのき工房

月	日	イベント名	売上 (円)										合計		
			木工(1F)	木工等(2F)	お菓子	野菜	布小物	帽子	食品・飲み物等	バザー					
4	7	多摩森林科学園	1,200		7,520										8,720
	14				4,320										4,320
5	18	アートムーチョ	22,250												22,250
	19		13,350												13,350
	19		3,350												3,350
6	26	ふくしまつり	38,000	7,100	16,840		1,000	10,000					2,150	75,090	
	8	恩方マルシエ			51,010									51,010	
7	20	八王子東 特別支援学校	7,600	1,000	23,550										32,150
	27	元八丁目夏祭り	6,600	1,000	15,220	4,300									27,120
	28		5,400	2,000	9,064									16,464	
9	30	わたぼうし祭り	5,000		6,400									11,400	
10	20	南大沢マルシエ			17,200									17,200	
11	2	ひのき工房祭り	42,000	2,200	130,220	63,590	7,250				76,550		34,350	356,160	
	16		75,550	カレンダー	74,670	7,210	11,510	13,500				41,950	224,390		
	17		100,550	1,200	27,500	2,810	6,500	13,900				24,640	177,100		
12	21	フォルクスワーゲン 祭り(委託)			9,000									9,000	
1	19	ふれあいコンサート			27,230									27,230	
2	21~ 23	手作り作品展	91,090		110,480		9,800							211,370	
合計			411,940	14,500	530,224	77,910	36,060	37,400	76,550	103,090				1,287,674	

## 2019年度 嘱託医訪問相談・PTリハビリ一覧

ひのき工房

項目	月												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
嘱託医訪問相談	日(曜日)	19(金)	24(金)	21(金)	19(金)	23(金)	20(金)	18(金)	22(金)	20(金)	17(金)	21(金)	27(金)	—
	利用者数	17	15	19	16	16	17	18	16	17	20	16	15	202
	リハビリ回数	4	5	5	4	3	5	4	5	4	3	4	3	49
理学療法士リハビリ	延利用者数	24	30	29	22	18	30	23	32	25	18	24	18	293

嘱託医訪問相談： はちせい城山病院杉本先生他1名 ・ 木崎看護師

理学療法士： 柳田先生・伊藤先生・武藤先生

## 2019年度 イベント等活動報告

## ひのき工房

月	日	イベント名	参加者			内容等
			利用者	ご家族 ボランティア等	職員	
4	7	多摩森林学園 販売	2		1	来場者は多かったのですが、売上は伸びませんでした。
	14		1		1	利用者さんの声「初めてのクッキー販売で楽しかった」、「もう少しお客さんに来てほしかった」
	14	元八王子2丁目 集団回収	9		10	動きやすく気持ちの良い気候の中、皆さん怪我なく作業ができました。
	25	一泊旅行	19		13	稲取へ一泊旅行へ行きました。お風呂とご飯が良かった。
	26					朝から雨と霧が凄かったのですが、バスの中は楽しく無事に帰ってきました。
5	11	第1回お出かけ会 (日の出イオン 買い物・食事会)	7		4	個々に行きたいお店で買い物が出来、昼食もバイキングでお腹いっぱいになりました。「楽しかった、また行きたい。」と利用者の皆さんの声がありました。
	16	日帰り旅行	19		13	天候にも恵まれ、トロッコ列車で景観を楽しみ、ホテルのコースランチを食べ、モールで買い物が出来ました。利用者の皆さんは、バスの中でのクイズやビンゴゲームも楽しんでいました。
	26	ふくしまつり	22		12	炎天下の中、利用者さんが前面に立ち、販売しました。参加の利用者さんが多く、テント内に入りきれず「もっと、販売を担当したかった。時間が短い。」という利用者さんが数人おりました。昼食はいつもと違う弁当屋さんで好評でした。
	26	町会 ソフトボール大会	7		5	暑い中、みんなで地域のチームを応援しました。昼食は希望のどんかつ屋に行き、利用者さんは喜んでいました。
	26	元八2丁目 地域清掃	2		1	朝早くから道路に落ちているゴミを集め、町会の住民の方たちと一緒に地域清掃に参加しました。終わった後に、皆さんでお茶をいただきました。
6	7	後援会総会 &交流会	43		22	後援会の報告、予定や各施設の紹介、手話とハンドベルの発表もあり、いつもと違ったお屋のメニューも好評でした。
	8	恩方マルシェ	2		4	応募に通り出店ででき初参加。パウンドケーキとクッキーは早い時間に完売しました。
	9	元八2・3丁目 集団回収	10		6	順調に回収が行われました。地域の人にありがとうと言われ、利用者さんも喜んでいました。
	22	カラオケ会	18		8	みんなで合唱するシーンもあり、にぎやかな会になりました。
7	4	ミニ七夕会	47		23	利用者さんも職員も、願い事を書いた短冊を笹竹に飾りつけ、お菓子づくり班の手作りケーキをいただき、歓談しました。
	6	ゲーム会	16		7	七夕の飾りつけがあったので、七夕気分を味わいながら賑やかなゲーム会でした。前日誕生日だった利用者さんのお祝いもみんなですることができました。
8	4	元八2・3丁目 集団回収	8		10	地域の方たちが、「暑い中ご苦労さま」と声をかけて下さり、利用者さんたちも励みになっていました。
	24	交流&花火会	24		15	利用者の皆さんは、ゲーム、DVD観賞、卓球を室内で楽しみ、緑日メニューのフランク、タコ焼き、わたがし、ポップコーンをいただきました。駐車場では流しそうめんを行い、トマトやブルーベリーも流し、盛り上がっていました。暗くなってからアイスを食べながら花火を見て、皆さん噴出花火がある度に、拍手をして盛り上がり、最後に、利用者・ご家族の皆さんで線香花火を楽しみました。
9	28	カラオケ会	17		7	皆さんでカラオケを楽しみました。
	29	わたぼうし祭	1		2	お客さんは多かったが、売り場の位置が悪かったことも影響し売り上げは伸びませんでした。
10	6	元八2・3丁目 集団回収	12		10	今回も順調に回収が行われました。
	9	赤い羽根 街頭募金	4	中学生 3	2	社会科実習の中学生3名も参加、利用者さんと一緒に大きな声をだして募金活動を行い、過去最高の募金額になりました。二日目は、2か所に分かれ活動を行いました。二日間とも、例年以上の募金活動が出来ました。
	16		6		2	
	20	南大沢フェスタ	6		4	初めて参加したイベント出店。駅前で人出は多かったのですが、売り場の配置がフリーマーケット(バザー用品販売)そばで多少の影響もあり売り上げは余り伸びませんでした。利用者さんはフリーマーケットで買物を楽しんでいました。
11	2	ひのき工房祭	45	ボランティア 他施設 メンバー ・職員 24	22	今回のひのき工房祭りは、村田石油様、蒔の会後援会等多くのボランティアさんの協力を得、蒔の会施設の応援もいただき開催できました。また、利用者実行委員会も4年ぶりに結成し、初めて行ったオープニングで利用者実行委員長(桐山さん)が開催宣言を行いました。このお祭りでは利用者の皆さんが楽しんで参加していました。
	10	町会総合防災 訓練	16	他施設 メンバー 1	9	今回の合同避難訓練では、前半に体験を行い、後半に映像を見て防災を学ぶことができました。訓練最後の炊き出しでは、職員・利用者さんで豚汁をいただき訓練を終了しました。
	16	いちよう祭り	17	ボラン ティア 4	18	二日間ともに、天候にも恵まれ販売を行うことができた。客足は例年よりも少し少ないようにも感じたが、利用者さんは販売で活躍し、大貫歯科では、畠山さんの似顔絵コーナーも盛況でした。プラグインでは、クッキー販売を主とし、2日分の用意したパウンドケーキを初日で完売するほど、大盛況でした。他に、木工、布小物、野菜、バザー用品等出店4ヶ所の売上合計額は40万円を超えました。
	17		ボラン ティア 4	20		

12	8	元八2・3丁目 集団回収	12		9	今回も順調に回収が行われました。
		町会餅つき大会	12		3	回収終了後、町会のご厚意で搗きたて餅をいただき、利用者の皆さんも美味しいと喜んでいました。
	20	クリスマス会	43	手話コース 4	23	午前中、利用者さんと一緒にクリスマス会飾り付け、利用者さんメイクアップ体験。午後12時10分よりクリスマス会が始まりランチを食しながら、利用者さんのバントマイム、職員の出し物、マジックショー、スライドショー、ビンゴゲームで盛り上がりました。利用者の皆さんは「楽しかった」と笑顔で話されていました。
1	19	八王子市 障害者文化展	8		3	ふれあいコンサート前に東急スクウェアでの文化展を鑑賞。本宮清吾さんの入賞(八王子市社会福祉協議会会長賞)作品、他の利用者さんたちの素敵な作品等を見てきました。
		ふれあい コンサート	21	ボラン ティア 1	12	午前11:00サザンスカイタワー集合し屋食は同ビル内の日高屋、サイゼリヤを利用。屋食後12:00より各施設の販売ブースを回り買い物等を行った。13:00よりふれあいコンサートの鑑賞、14:10と16:20に利用者送迎。利用者の皆さんからは、「コンサートは良かった。また来たい。」と好評でした。
2	3	ミニ節分	40		22	15:10各部署作業終了後、節分の気分を感じて貰おうと、職員が鬼に扮し、利用者さんが作成した升に豆を入れて豆まきを行いました。利用者の皆さんは楽しい、面白いと豆まきを行っていました。
	21	手作り作品展	0		2	イーアス高尾にて、木工品・お菓子・布小物等の販売を行いました。コロナウイルス感染の影響も心配されましたが、予定通り無事に開催され、売り上げも例年とあまり変わりありませんでした。
	22		0		2	
	23		0	ボラン ティア 1	2	
	22	ゲーム交流会	27		15	イーアス高尾での食事会を新型コロナウイルス感染防止のため中止し、施設内のイベントに変更実施。食事会を楽しみにしていた利用者さんが多くいた為、普段の食事とは違う食事やお茶会を設定し行いました。利用者の皆さんは、食事の他に映画、ゲーム、卓球等を楽しみました。
3	3	ミニひな祭り会	38		23	作業終了後、食堂でBGMを聞きながらミニひな祭り会を行いました。利用者さんは、ひな祭りの気分を感じることができて良かったと話されていました。
合計			600	42	355	

## 2019年度 職員研修一覽

ひのき工房

年月日		研修内容	主催・講師等	参加人数(名)	内・外部		
令和 1 年	7 日	2019年度施設間交流	本部	1	内		
	5 月	23 日	2018年度事業報告	施設長	11	内	
		30 日	2019年度事業計画	施設長	13	内	
	8 月	20 日	虐待防止研修	八王子市	1	外	
		22 日	虐待防止研修(伝達講習)	職員	14	内	
	10 月	安全運転講習会	法人研修	16	内		
	11 月	東京都サ一ビス管理責任者基礎研修及び 児童発達支援管理責任者基礎研修(3・4日目)	東京都	1	外		
	12 月	発見！これからの障害の考え方	東京都	1	外		
	令和 2 年	24 日	決算書が教える良い経営、悪い経営	商工会議所	1	外	
		1 月	30 日	子一ムOJT 育て育ち合い、支え合うチームを目指して	法人研修 駒沢女子大学 永久理恵講師	11	内
			14 日	感染症・誤嚥について	岡本看護師	16	内
		2 月	19 日	感染症・誤嚥について(伝達講習)	職員	9	内
総参加人数			95	内8 外4			